

(報告資料1)

資料は委員会での意見を踏まえ、
修正を行っております。

1. 七隈線延伸事業の進捗状況について

- 1. 全体スケジュールP1
- 2. 工事の進捗状況P1～5

平成30年7月4日(水)

福岡市交通局

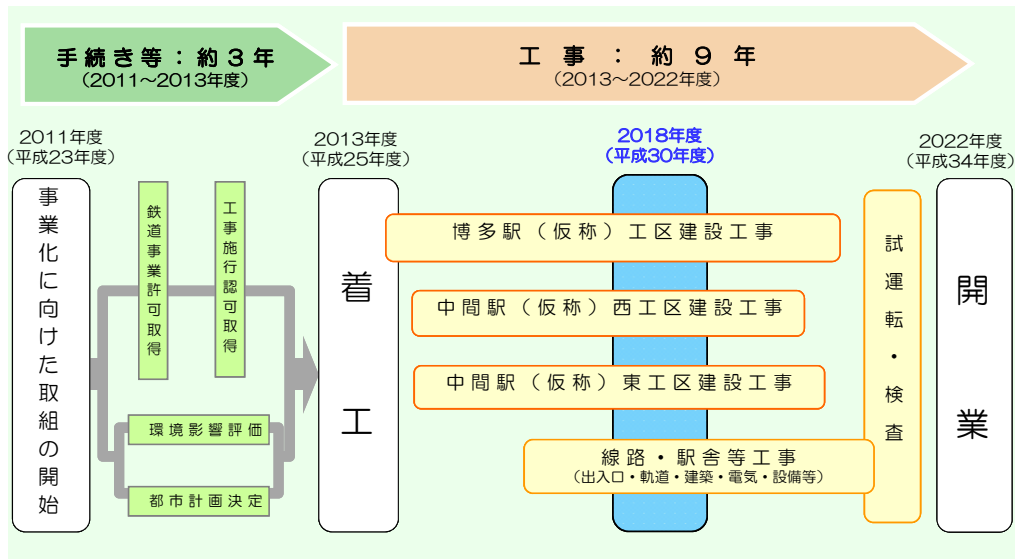
1. 全体スケジュール

七隈線延伸事業は、平成23年度より事業化へ向けた取組を開始し、鉄道事業許可や工事施行認可を取得するとともに、環境影響評価や都市計画決定等の手続きを進め、平成25年度に土木本体工事に着手した。また、平成28年度には中間駅（仮称）の出入口工事に着手した。

これまで、2020年度（平成32年度）開業を目指し、事業を進めてきたが、平成28年11月8日の道路陥没事故を受けて、その影響を踏まえつつ、安全な施工を最優先に全体工程を調整・精査した結果、開業時期については、2022年度（平成34年度）の見込みとなった。

また、全体事業費については、物価上昇や駅施設の利便性の拡充など、社会情勢の変化による影響や、道路陥没事故の影響に伴い、約450億円から約587億円へ増加する見込みとなった。

◆全体スケジュール



（参考）事業概要

- 延伸区間 天神南～博多
- 建設キロ 約1.4 km（営業キロ約1.6 km）
- 建設費 約587億円
- 利用人数 延伸区間で約8.2万人／日（このうち新規利用者数…約2.3万人／日）
- 開業予定 2022年度

2. 工事の進捗状況

（1）土木本体工事の概要

土木本体工事については、「中間駅（仮称）西工区」，「中間駅（仮称）東工区」，「博多駅（仮称）工区」3つの工区に分割し、平成25年度に工事契約を締結した。

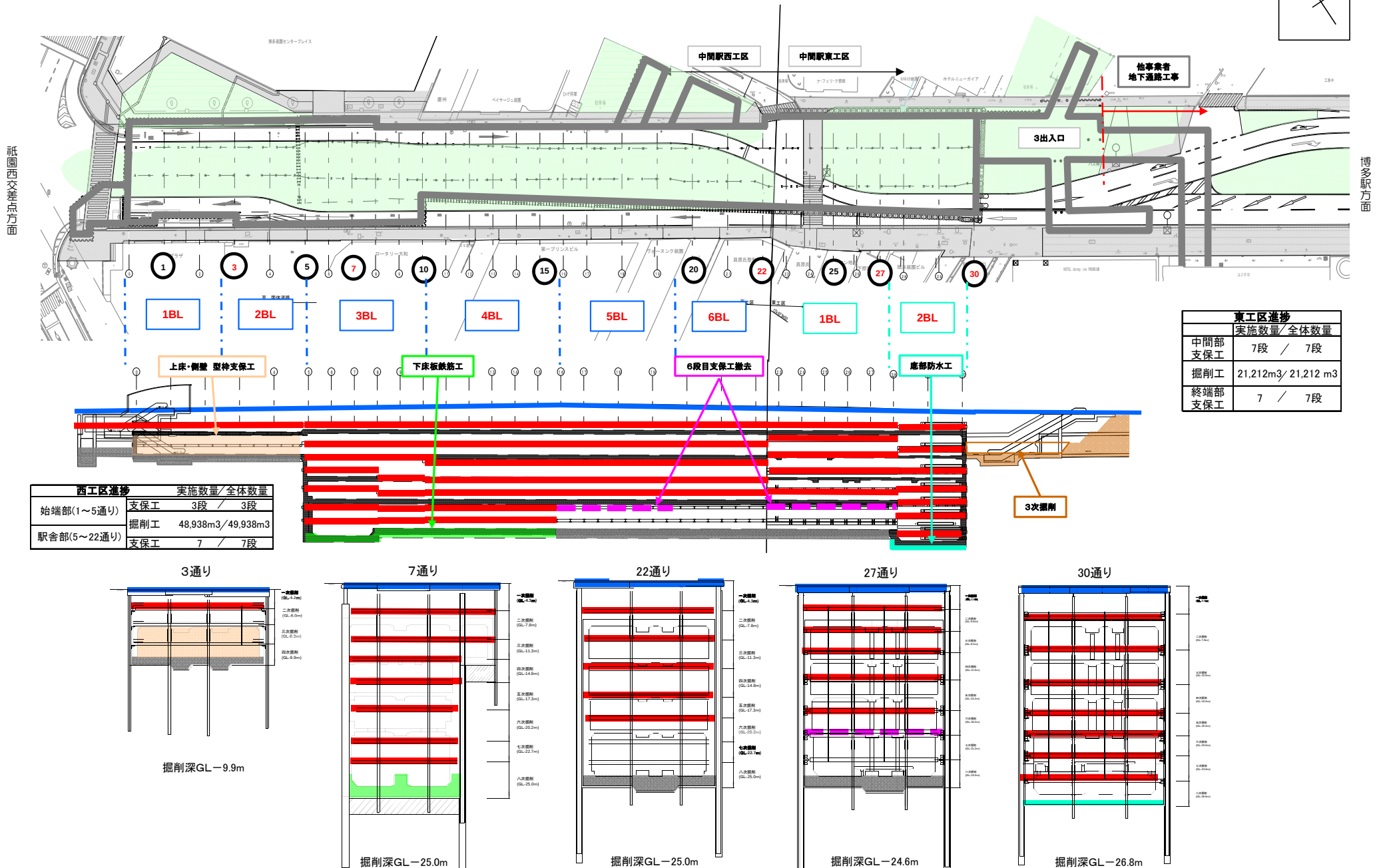


工事名	福岡市地下鉄七隈線 中間駅（仮称）西工区建設工事	福岡市地下鉄七隈線 中間駅（仮称）東工区建設工事	福岡市地下鉄七隈線 博多駅（仮称）工区建設工事
受注業者	大林・熊谷・大本・東田中 建設工事共同企業体	銭高・日本国土・九建 建設工事共同企業体	大成・佐藤・森本・三軌・西光 建設工事共同企業体
工事概要	工事延長 L=670.9m ・シールド工法 L=569.9m ・開削工法 L=138.7m	工事延長 L=469.6m ・シールド工法 L=426.1m ・開削工法 L=43.5m	工事延長 L=279.3m ・都市ナム工法 L=195.6m ・開削工法 L=83.7m (アンダーピニング工法)

2. 工事の進捗状況

(2) 中間駅（仮称）西・東工区の進捗状況

中間駅（仮称）西・東工区については、駅舎となる部分の掘削工事がすべて完了し、現在、駅舎の構築を行っている。
また、地上の道路占用を切り替え、施工ヤードを確保しながら、出入口となる部分の掘削工事を実施している。



2. 工事の進捗状況

(2) 中間駅（仮称）西・東工区の進捗状況

■はかた駅前通りの道路占用状況（平成30年6月撮影）



＜祇園町西交差点方面より撮影＞



＜博多駅方面より撮影＞

■コンコース階の下床版構築状況（平成30年1月撮影）



＜コンクリート打設完了＞

■軌道階の下床版構築状況（平成30年4～6月撮影）



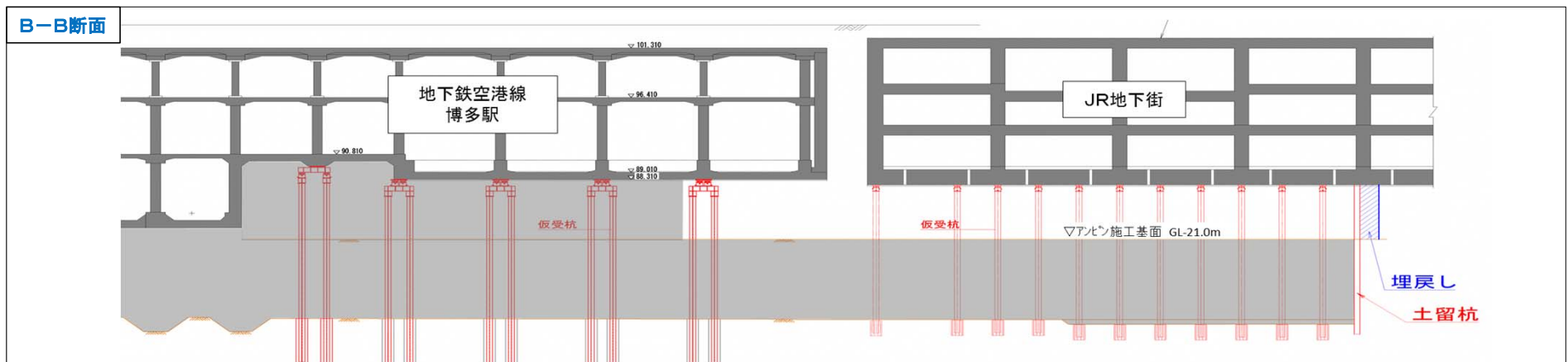
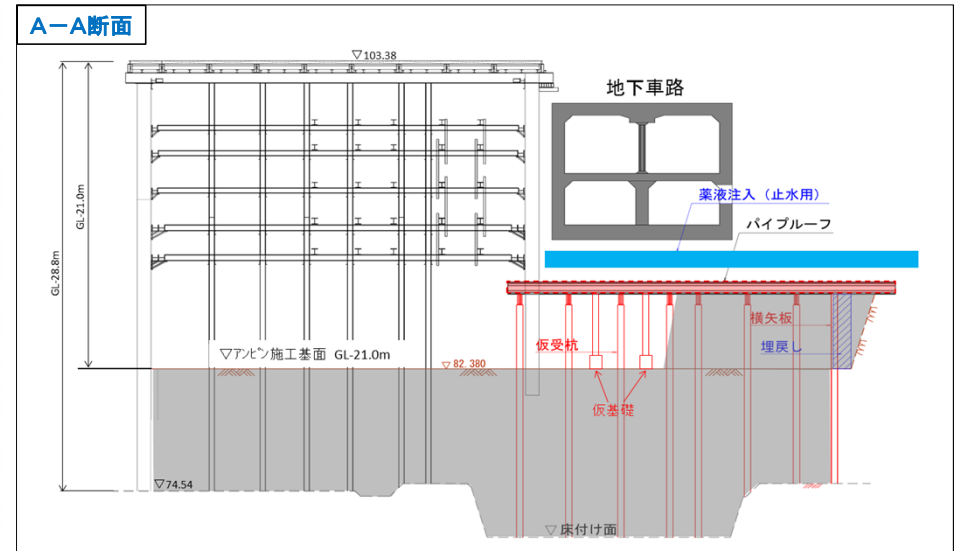
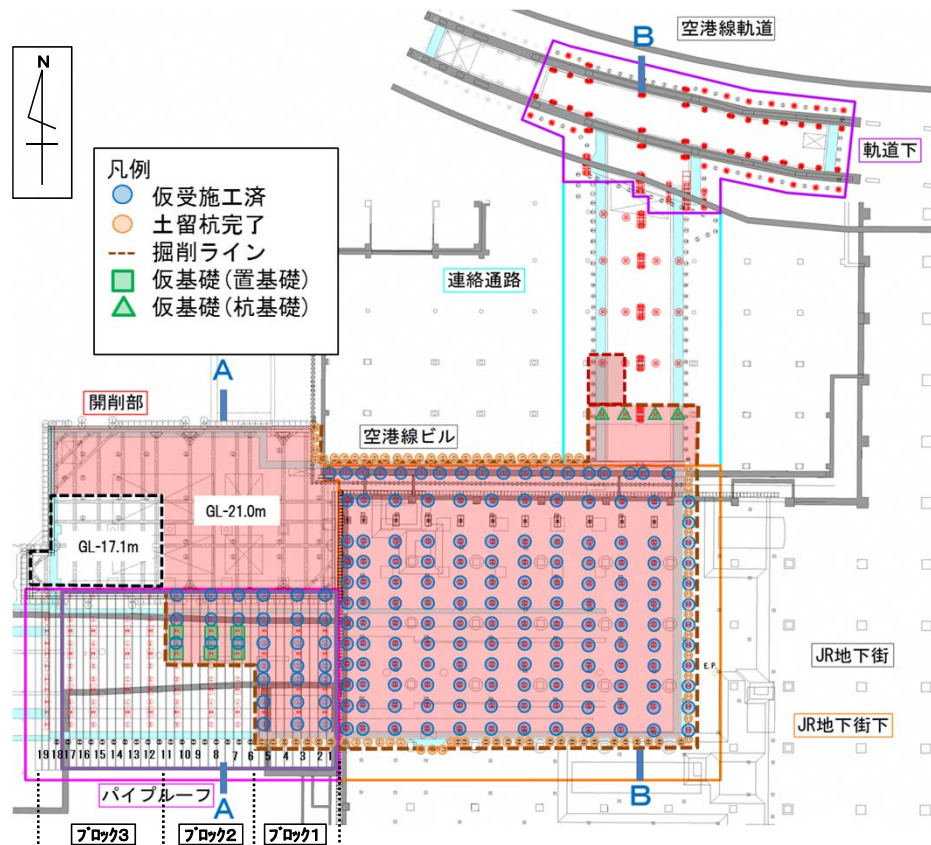
＜鉄筋工→本体コンクリート打設＞

2. 工事の進捗状況

(3) 博多駅（仮称）工区の進捗状況

博多駅（仮称）工区【開削部】については、JR地下街部の仮受が完了し、現在、空港線連絡通路部やパイプルーフ下の掘削工事を実施している。

（※なお、【ナトム部】における進捗状況は、【報告事項】 2. 道路陥没部やトンネル坑内の状況について にて別途報告するため、当該項目では省略する。）



2. 工事の進捗状況

(3) 博多駅（仮称）工区の進捗状況

■住吉通りの道路占用状況（平成30年6月撮影）



<博多駅バスターミナル方面より撮影>

■JR地下街部の仮受状況（平成30年6月撮影）



<仮受杭の設置完了>

■空港線連絡通路部における導坑掘削の状況（平成30年6月撮影）



<導坑掘削の状況>

■パイプルーフ下の掘削状況（平成30年6月撮影）



<掘削状況>